



今月の話題：耐震設計の公共建築の耐震性に疑念が生じる事態が発生した。設計、施工担当経験者はどんな思いでこのニュースを聞いただろうか。思い当たる節のある人はまいいか。PL法とかISO品質確認システム等、品質確保の方策はさまざまに検討されているが、結局は無力で反省とお詫びだけが残った。古来、歴史、記録は当事者側の正当化資料として残される。当事者が変わると、「改竄」とか「歴史認識の誤り」のように糾弾される。記録の第三者性が求められるが、第三者が記録者に選ばれることは殆どない。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎記)

・「日本モンゴル書道展」が伊藤忠青山アートスクエアで開催されました。(3月5日～3月24日)

日本側からは、安倍首相、麻生元総理等、モンゴル側からはエルベグドジル大統領、サーツがお世話になっているメンドオーヨー氏らが出品。モンゴルの絵画のような文字は不思議な魅力がありました。

○次回理事会予定：5月20日(木) 18:00～

□ 建築部会：(安部重孝記)

・新宿東宝ビル(旧新宿コマ)建築現場見学開催 3月2日)参加者11名。用途は店舗、シネコン、ホテル 規模は30階建、竣工前の見学でした。

・サーツ寺子屋平成27年度第1回「特殊建築物等定期調査報告業務の実施について」一建物オーナーと一級建築士のために(3月16日担当：丸山) 経験豊富な丸山さんを講師に、サーツ事務所会議室にて開催、マンション管理組合の方1名を含め、参加者は11名でした。今後のサーツの業務としても検討しました。

・伊藤忠都市開発での教育研修講師派遣は本年度も6回開催されることになりました(担当：岡本)。

新講座のカリキュラムを検討中です。

・サーツ・モンゴルシンポジウム再開催について、JICA東京を訪問し、支援について相談しました。(3月16日 担当：松本、安部)。

・錦糸町における地下掘削工事による近隣への影響について技術相談があり、対応中です。(担当：柳川、筒井、丸山)。

○次回建築部会 WG：4月6日(月) 15:00～16:30

建築部会：4月16日(水) 17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎記)

・平成25年省エネルギー基準が4月1日より施行される。長期優良住宅や住宅金融支援機構「フラット35S」等による有利な支援施策を受けるためにはこれらの円滑な対応が工務店にとっては重要だが、合理化シ

ステム長期性能タイプの認定取得各社のそれぞれの新省エネ対応支援業務を施行日に間に合うよう受託し、ほぼ終了した。その他の受託業務として住木センターよりの木材利用ポイント建物追跡調査を部会員が手分けして分担して全国的に調査実施中である。

・大型木質構造建築推進のための「木質構造建築設計 Web セミナー2014」と「ホームビルダー実務向上 Web セミナー2014」は既報の通り、全講義がリリースされており、会員は無料に付き、ホームページより部会会員の聴講をお勧めする。

○次回部会予定：4月3日(金) 18:00～

ショートスピーチ：阿部市郎氏「クルーズの話」

□ 集合住宅部会 (小畑晴治記)

・マンション再生なび”とのタイアップ事業で、久米川東住宅(都公社)の管理組合向け勉強会を4月と6月に開催する運びとなりました。”建替を前提としない団地再生”を目指す勉強会の開催を分担することになりました。中層階段室住棟用の低廉昇降装置の研究開発や、高齢者の安心居住の勉強成果が、発揮できるのではないかと期待しています。

中層住棟用の昇降装置の開発については、協力メーカーが6月に工場内での試行実験を行う段階になってきました。

○次回部会予定：5月26日(火) 18:00～

□ マンション管理組合支援事業部 (向野元昭記)

・3月4日に川口PTマンションにて大規模改修時のコンサルタントの役割につき説明した。コンサルタントの重要性について理解が得られたと感じた。(向野、丸山)

○次回部会予定：5月26日(火) 16:00～18:00

□ 建築技術誌3月号サーツ欄掲載記事

・吉田一空：現存する建築物の未来

・筒井 勲：伝統的建築探訪記「北陸の旅(2)」

□ 余滴：やうやくに桜前線届きけり 捷三郎